

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒103-0027
 住 所 東京都中央区日本橋本町一丁目9番13号
 氏 名 エム・ジ・エイ・リテール・インベストメンツ・ワン株式会社
 取締役 菅谷 英伸 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エム・ジ・エイ・リテール・インベストメンツ・ワン株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区日進町1-11		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,828	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	エム・ジ・エイ・リテール・インベストメンツ・ワン株式会社
		所在地	東京都中央区日本橋本町一丁目9番13号
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,496 t-CO ₂ (調) 6,405	(実) 7,173 t-CO ₂ (調) 6,085	(実) 6,266 t-CO ₂ (調) 5,293	(実) 6,483 t-CO ₂ (調) 5,488	(実) 7,256 t-CO ₂ (調) 6,200
削減率		(実) 4.3 % (調) 5.0	(実) 16.4 % (調) 17.4	(実) 13.5 % (調) 14.3	(実) 3.2 % (調) 3.2

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	空調機1台をインバータ化し、高効率運転を実施。又、都市ガス使用の熱源機器の全分解整備及び水管の薬品洗浄を行い、ガスの使用量を削減する事で、温室効果ガスを4%以上削減出来た。
第2年度	東北地方太平洋沖地震後の電力使用の自粛。その後の夏の電力逼迫に伴う電力使用制限にて、電気・ガス使用量を削減した。又、空調機2台をインバータ化し、高効率運転を実施。外階段照明を高効率型蛍光灯へ交換した。以上の省エネ活動により温室効果ガスを16.4%削減出来た。
第3年度	震災以降の照明の間引きを継続し、共用部照明をLED化し、温室効果ガスを13.5%削減出来た。この3年間の削減量は大幅に達成出来ている。これは1年目で実施したガスの使用量の低減が主だと考えている。更新計画にあったポンプINV化は再考となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・熱源冷温水2次ポンプのインバータ化 ・外部避難階段照明の高効率機器へ更新 ・空調機インバータ化 ・既設機器の運用を見直し
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機インバータ化 空調機1台をインバータ使用の空調機へ更新 ・既設機器の運用を見直し ガス使用量削減を目指し、冷却塔ファン発停温度を32℃→28℃へ変更 ・熱源機器の全分解整備及び水管の薬品洗浄
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機インバータ化 空調機2台をインバータ使用の空調機へ更新 ・スクリーン冷凍機の全分解整備 ・外階段照明器具更新(416台)高効率化(FLR40 → FHF32)
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部照明LED化及び震災以降の照明間引きの継続 <p>熱源冷温水2次ポンプのインバータ化以外は行えており、排出量目標達成出来ている。</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・ダウンライトキャンペーンへの参加
第1年度	・ダウンライトキャンペーンへの参加
第2年度	・ダウンライトキャンペーンへの参加
第3年度	・ダウンライトキャンペーンへの参加

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	7,016	t-CO ₂
(調)	7,004	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎ルフロン	川崎市川崎区日進町1-11	6911	貸事務所業	7,016 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--